

情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

胃静脈瘤に対するバルーン閉塞下逆行性静脈瘤塞栓術の治療効果に関する研究

1 研究の対象

2010年1月1日～2022年12月31日までにJA 北海道厚生連札幌厚生病院肝臓内科で孤立性胃静脈瘤に対して、バルーン閉塞下逆行性静脈瘤塞栓術(B-RTO)をおこなった患者

2 研究目的

孤立性胃静脈瘤に対するB-RTO後の治療効果と肝予備能への影響を検討することを目的とします。

3 研究に用いる試料・情報の種類

試料:血液検査、CT画像、上部内視鏡検査結果等

診療情報:年齢、性別、背景肝、検査所見(画像、血液検査)等

4 研究組織

当院単独での研究です

5 情報の提供先・提供方法

当院でのみ使用

6 利益相反に関する事項

記載例: 本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院 (☎: 代表 011-261-5331 内線 4042)

研究責任者: 肝胆膵内科 巽 亮二

問い合わせ担当者: 肝胆膵内科 巽 亮二